

令和7年度 中学部の教育目標及びめざす生徒の姿と重点事項

学校教育目標	児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行い、生きる力や可能性を限りなく伸ばし、自立と社会参加に向けて心豊かに生きる児童生徒を育成する。
学部教育目標	生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導・支援を行い、自立と社会参加に向けて、基本的な力の定着を図るとともに、集団の中で自分の力を発揮しながら自ら考えて行動することができる生徒を育成する。

学校がめざす児童生徒像	学部がめざす生徒の姿と重点事項	
心身共に健やかな児童生徒	1	自分の心と体を大事にし、明るく元気に生活する生徒
	重点事項	(1) 学部・学年単位で生徒一人一人の健康と安全に十分気を配り、感染症の予防と感染拡大防止策を継続するとともに、4S（整理・整頓・清掃・清潔）による衛生的な環境づくりを行い、安心・安全な教育環境整備に努める。 (2) 健康の維持増進につながる、実態に応じた体力づくり運動の取組や、心と体の成長の変化に応じた「性」や「食」に関する指導を、計画的、継続的に進め、改善・充実を図る。 (3) 相互に人権意識を高め、生徒によい模範（挨拶・言葉遣い・呼称等）を示すとともに、いじめや不登校、諸問題行動などへの協働的取組の充実を図る。
お互いのよさを認め合い、集団の中で自分の力やよさを発揮する児童生徒	2	自分や友達のよさに気付き、学んだことを生かしながら、様々な集団の中でできることを増やす生徒
	重点事項	(1) 日々の学校生活や学習の場面で、挨拶や返事、言葉遣い、社会生活上のルールやマナー等の基本的な生活習慣についての指導を充実させ、できたこと、できるようになったことを職員、保護者と共有する。 (2) 校外学習や遠足、宿泊的行事などの校外での学習において、地域の人材や公共の施設（交通機関）等の活用の充実を図る。
発達に応じた知識や技能を身に付けた児童生徒	3	目標に向かって最後まで粘り強く学習に取り組む生徒
	重点事項	(1) 教育課程や指導計画について、学年で定期的に成果と課題を整理し、学部で共通理解を図りながら改善していくなどして、PDCAサイクルを実践する。 (2) 自立活動の時間における指導を実践しながら、実態把握の方法、指導目標・内容・方法の設定、評価について成果と課題を集約する。 (3) ICT機器を効果的に活用し、生徒が主体的に参加、活動できる授業づくりと、興味関心に応じた教材・教具の工夫を行う。 (4) 校内資源（進路指導主任や養護教諭、栄養教諭等）を活用しながら、学習内容を工夫し、指導の改善・充実を図る。
様々なことに興味・関心をもち、自ら関わる児童生徒	4	自分で考えて活動することを楽しみ、自ら活動に取り組む生徒
	重点事項	(1) 将来の生活を見据えた基本的な力の定着を目指し、学部・学年で共有し日々の学校生活の中で継続した指導を行う。 (2) 作業学習の指導において、定期的に担当者会を実施し、個別の指導計画の目標や手立て、評価について職員間で共通理解を図ると共に、作業内容の見直し、改善を行い、指導の充実を図る。 (3) 作品募集や各種コンクール、スポーツ大会等に参加する機会を設け、興味・関心を広げ、指導内容が家庭生活や社会生活に結び付くように、指導の充実を図る。